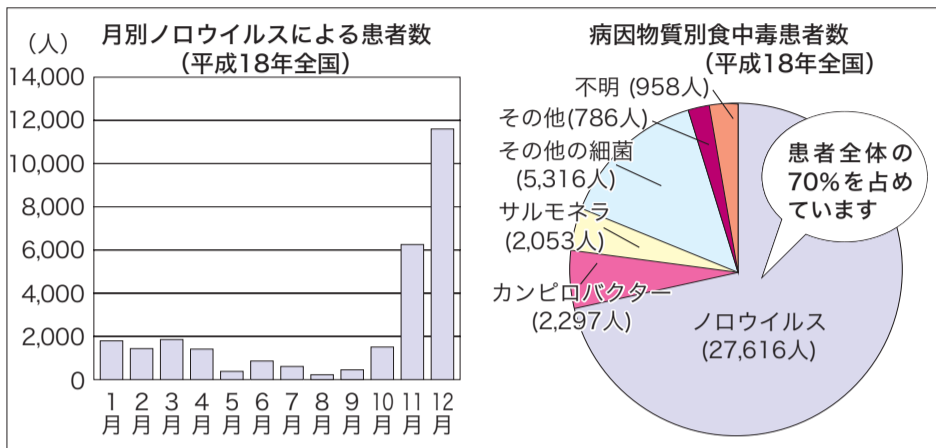


しっかり対策 冬の食中毒

ノロウイルス食中毒を予防しよう

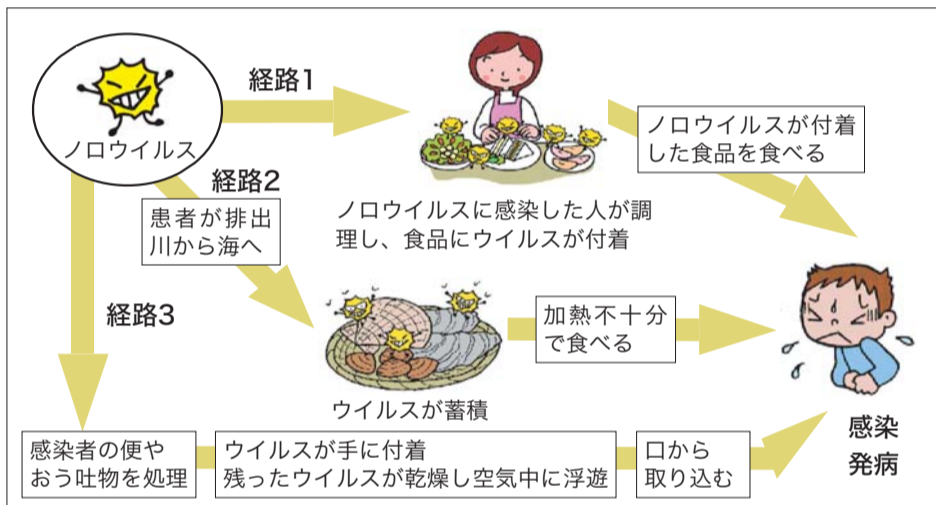
ノロウイルスによる食中毒は、これから春先にかけて多く発生します。全国で発生した平成18年の食中毒患者数でみると、ノロウイルスが病因物質の1位になっています。ノロウイルスは感染力がとても強いので、予防対策をしっかりと実行しましょう。

【問合せ】衛生課食品保健係(第2分庁舎3階) ☎(5273)3827へ。



● 感染はこんなところから ●

- 感染経路1…感染者が調理中に食品を汚染し、それを食べた人が感染する。
- 感染経路2…ウイルスに汚染されたカキやシジミなどの二枚貝を、生や不十分な加熱調理で食べる。
- 感染経路3…感染者の便やおう吐物などを通して、人から人へ感染する。



● 予防のポイントは ●



手洗い
トイレの後や調理の前には、石けんでよく手を洗いましょう。



加熱調理
二枚貝を加熱調理するときは、中心部までよく火を通しましょう。中心温度85℃で1分間の加熱が目安です。



衛生的な汚物処理
感染者の便やおう吐物を処理するときは、使い捨て手袋やマスクを着用し、ふき取ったペーパータオル等は、ビニール袋に入れて処理しましょう。

★厚生労働省のホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」もご覧ください。
☎<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/dl/040204-1.pdf>

● 消費者講座「ノロウイルス食中毒を予防しましょう！」

家庭での予防方法などについて、保健所の食品衛生監視員が分かりやすく解説します。
【日時】12月4日(火)午後2時～3時30分
【会場】西新宿保健センター(西新宿7-5-8)
【申込み】電話で衛生課食品保健係(第2分庁舎3階) ☎(5273)3827へ。先着40名。

● 2008食品衛生カレンダー配布中

食中毒の予防方法等について解説しています。数に限りがあります。
【配布場所】衛生課・保健センター・特別出張所
【問合せ】衛生課食品保健係(第2分庁舎3階) ☎(5273)3827へ。

ご存じですか ぜん息予防アレルギー相談

① 問診・身体計測

② 診察(専門医)

診察(全身の皮膚状態、聴診など)を行い、相談をお受けします。



子どものスキンケアのコツはね…

ぜん息とアレルギーの関連はね…

③ 環境衛生相談(保健衛生監視員)

アレルギー予防には住まいのダニ対策が重要です。住環境に関する相談もお受けします。

希望する方には「住まいの環境診断」(家庭を訪問して寝具などのダニアレルギーを測定)を実施します。

【問合せ】衛生課生活衛生係(第2分庁舎3階) ☎(5273)3845へ。

④ 栄養相談(栄養士) ⑤ 保健相談(保健師)

ぜん息、湿疹などの皮膚症状があるお子さん(15歳未満)の保護者の方から、相談をお受けします。

【日時・会場】▶①12月13日(木)…四谷保健センター(四谷4-17)、▶②20年1月24日(木)…落合保健センター(下落合4-6-7)、▶③2月14日(木)…牛込保健センター(弁天町50)、▶④3月14日(金)…西新宿保健センター(西新宿7-5-8)、いずれも午後1時15分～3時30分に受け付け

【対象】区内在住で15歳未満のぜん息などの症状があるお子さんと保護者の方、各回10名。相談時間は60分～90分程度

【費用】無料
【申込み】計画推進課公害保健係(本庁舎7階) ☎(5273)3048へ。先着順。予約制。

子どもぜん息予防ホームページ

ぜん息を中心としたアレルギー予防に関する事業を、新宿区ホームページの計画推進課のページでご案内しています。4月に開催した「アレルギー予防教室」の講演内容やレシピ集、Q&Aも掲載しています。

【問合せ】計画推進課公害保健係(本庁舎7階) ☎(5273)3048へ。

●● こんな症状はありませんか? ●●



① じくじくして治りにくい湿疹がある



② 風邪をひいた後、数日から数週間も鼻水やせきが続く



③ 「ゼロゼロ」や「ヒューヒュー」の症状があるのに元気がない。夜になると悪化する



④ 特定の食物を食べると皮膚が赤くなったり湿疹が出たりする

見逃していませんか?

ぜん息のサイン